

## 平成 27 年度第 2 回宇土市庁舎建設検討委員会 質疑概要

### ①基本理念・方針及び新庁舎の機能について

(D 委員)

実現可能な意見をとという話だが、委員会としては庁舎建設に対する予算がどれだけあるかわからない。ですので、実現可能か可能でないかが判断できない。

例えば、ヘリポートなどは巨大地震があったときは大事だと思うが、それについても予算の部分がわからないので、実現可能かそうでないのか判断できない。

また、現在の危機管理課は 2 階にあるが、災害時を考えた時に本当に 2 階でいいのか。

これまでの災害の歴史を考慮し、50 年経った時に良かったと思うような庁舎を建設しなければならないと思う。

(事務局)

確かに庁舎建設に対しての予算の縛りはありますが、この委員会の議論の中では、予算については特に考えずに色々な意見を出していただきたい。

(F 委員)

現在、市役所裏の福祉センターについては、災害時の避難所にもなっている。このような避難所機能について、先程の基本構想案の庁舎機能部分の説明には出てこなかった。

災害時での市民が避難できる場所としての機能も新しい庁舎に求めるのかそうでないのかも考えるべきだと思う。

また、市民向けの情報公開コーナーを設置するということだが、そこには行政文書だけでなく、宇土市の歴史文書も公開できるようなスペースにしてほしい。

(A 委員)

歴史文書とは行政関係のものなのか？

(F 委員)

行政関係の中でも明治期から残してあるものなど。また、毎年多くの行政文書が破棄されている中で、教育委員会などでは、宇土市の歴史を語るうえで必要な公文書は残している。歴史文書でいえば、他にも明治以前の古文書などもある。

(A 委員)

情報公開コーナーについては、図書館と関連した議論が今後必要になってくると思われる。

(G 委員)

庁舎の利便機能についてですが、新庁舎は何階建てを検討されているのか？

例えば、地下が使用できるなら、熊本市のようにカフェなどを設置すれば、もっと市民が集まれる場所になるのではないか。現在、周辺には、カフェなど少ないので市役所にあつたらいいと思う。

それから、来庁者用駐車場についてですが、今は市役所に用事がない人でも駐車できるようにになっている。市役所に用事がある人が駐車できないのを防ぐ為に、新庁舎では駐車場にゲート等設置し、極力庁舎に用事がない人の駐車は少なくするようする予定などできないか。

(事務局)

新庁舎建設について、階数や駐車場の位置及びゲートの設置などについては、これから検討していく予定です。

(F 委員)

図書館や他の公共施設などに、市民ギャラリー・展示スペースを設ける場合、市民の皆様の文化活動の成果また、市の持っている歴史的美術品などを展示できる美術館のような仕様を考えていただきたい。

(A 委員)

美術館というのは？

(F 委員)

現在、市民の皆様の市民活動の成果物。市の持っている歴史的資料。宇土市出身者の出版物。昔の殿様の掛け軸など、多く展示できる物があるが展示できる場所がない。

そこで、それら歴史的な物を展示できる機能をもつ公共の施設について、今後検討が必要だと考えている。

(事務局)

それらも含めて検討していきたい。

(F 委員)

沖縄県の北谷町は、庁舎の1階に公文書館として文書を保管・公開している。

(A 委員)

それでは、これまで出た意見を委員会として取りまとめていきたいと思います。

## ②新庁舎の規模について

(B 委員)

新庁舎の規模を出す積算方法として、市役所に勤務する職員分による面積算定だけでなく、市民分の交流スペースなどの面積はどう考えているのか。

単に、職員の人数から規模が1万㎡と出すのではなく、もう少し市民の立場を考えて算出していただきたい。

(A 委員)

この委員会の審議の中では、新庁舎の中に行政機能の部分と、他の機能として、どのようなものを付加していくのかが議題になってくると思います。

例えば、市民が交流できるような複合施設と合わせた面積は、この委員会で検討した後に出てくるものだと思います。

ですので、現在示してある新庁舎の規模が1万㎡程度という面積は、決して固定的なものではないと考えてもよいのではないのでしょうか。

(事務局)

資料の5ページを見ていただければと思います。ここでは、近年、同規模の自治体の庁舎が、どの程度の規模で建設されているかを載せています。

それらを考慮した上で、大まかな数字として新庁舎の規模を1万㎡程度としています。

(D 委員)

来庁者用の駐車場と庁舎建物の部分は切り離して考えた方が分かりやすいと思う。

(A 委員)

新庁舎の規模の中に、来庁者用の駐車場の面積は含まれていないように思いますが。

(事務局)

ご指摘のとおりです。

算出した新庁舎の規模では、来庁者用の駐車場の面積は含まれておりません。また、資料の5ページに載せている同一規模の自治体の庁舎面積にも、来庁者用の駐車場の面積は含まれていません。

(C 委員)

新庁舎を建設する場合、行政機能だけで建設するのか、もしくは、複合施設とするのか。まず、これを最初に考えていた方がいいのではと思う。

公共施設を複合施設として考えた場合、最初に考えるべきは図書館だと思う。現在の

図書館は、駐車場も資料などの展示スペースも少ない。もっと、利便性を向上する必要があると思う。

そのようなこともあるので、最初から行政施設のみで考えるのか、もしくは複合的に考えるのかを決める必要があると思う。その先に、複合施設で建設するなら、庁舎内に造るのか、併設して造るかなどを考えるべきだと思う。

また、市民の交流の場は、今後必ず必要になってくる。

現在、宇土市で大きなイベントができるホールが庁舎の中にはない。そのような機能は必要だと思うので、新庁舎の機能として考えた方が良いと思う。何度も言うが、新庁舎を建設するなら行政機能だけなのか、もしくは複合化なのかを示していないので意見を出しにくい。

#### (D 委員)

当委員会としては行政機能だけなのか、複合施設とするのか、最初に結論を出したうえで議論していかないといけないと私も思う。

なぜなら、新庁舎を複合施設として考えた場合、建設するためのスペースが多く必要になる。

また、色んな公共的な施設を複合化しようとする、建設スペースの問題もあり、上に積み上げて建設するしかない形になってしまう。それか、スペースが多く取れる場所に建設するしかない。

まず、そこを考え結論を出したうえで話をしないといけない。

#### (G 委員)

市民が交流できる場所ということで、中央公民館がありますが、現状では駐車場がない。それに加えて、建物自体も老朽化が激しい。その他の公共施設では、給食センターも老朽している。

#### (事務局)

市では、次年度にかけて、公共施設等総合管理計画を策定する予定です。その計画の中でも、他の施設との複合化について考えていくこととしております。

中央公民館や図書館を含めた複合施設にするなど、委員会の中で議論されたことは大いに意見として返していただければと思います。

#### (C 委員)

個人的な意見としては、個々に施設を建設するよりも、複合施設として庁舎を建設した方が良いと思う。

(A 委員)

最初から委員の皆様から、複合施設としての意見が多く出ていました。そこで、委員会としては、複合的な庁舎とするという視点で進めて行きたいと思います。

### ③新庁舎の位置および公共施設再整備について

(A 委員)

基本構想案の中で示されている最終的な結論としては、位置番号 A 及び B を一体として考えるのか、もしくは C または D の場所に建設するのかになると思います。

(事務局)

基本構想案の中で検討している位置については、委員ご指摘の通りです。

(A 委員)

付け加えると、8 ページに書いてある面積ですが、建設位置として考えると、A と B を足して 2 万 7 6 0 0 m<sup>2</sup>。C の 6 0 5 1 m<sup>2</sup>。D の 2 万 5 0 0 0 m<sup>2</sup>。という考え方で検討して良いのではないかと思います。

(B 委員)

新庁舎の全体の敷地面積はどのくらいと考えているか。

(事務局)

基本構想案の段階では、各執務室などを積み上げた敷地面積は算出されておりません。建設する位置次第で、土地の面積が狭い場合は、必然的に庁舎自体が高層になっていくことになると思われます。現段階では、新庁舎の規模として同規模の自治体を参考にした 1 万 m<sup>2</sup>程度ということしか出しておりません。

(D 委員)

他の委員からも意見が出ている庁舎の敷地面積とは、来庁者用の駐車場や複合的な施設など、すべて含めて必要な面積のことなのか。

(事務局)

来客用駐車場の規模に関しては、今後自動車で来庁される日毎の台数などを調査する予定です。その中で、全体的に駐車場は何台分必要なのかを考えていきたい。

建設位置が確定した中で、駐車場の台数が多く必要などあれば、駐車場を 2 階建てするなど考える必要があるかもしれません。

#### (D 委員)

事前にいただいていた基本構想案を見てみると、市は最終的に財政的な負担も少ないので、土地買収費用などが発生しない位置番号 A 及び B で決定したいということはよくわかった。

しかし、50 年先に現在の宇土市の本町通りがどうなっているかを考えなければいけないと思う。

今後、宇土駅の東口に大型のホームセンターができる予定です。このように、現在東側の方に中心部が移ってきているのではと感じる。

資料の位置番号 A 及び B という案は、今の宇土市の中心部を考えたときにはベストだと思うが、今後 50 年先を考えると、この場所に新しい庁舎を建設して本当に良いのかと思う。

現実的には、位置番号 C または D は土地の買収費用もかかるし、位置的に排水問題など災害の課題がある。その他、土地の広さ的にも位置番号 A・B で建設する方が広くとれる。ただ、候補地を現在検討している場所だけでなく、花園地区の善道寺町付近まで検討できればもっと視野が広がるのではないかと。

このような委員会を設置し、50 年先を考えながら検討しようと基本理念にも掲げているわけですから、基本構想案の中で検討されている候補地だけでは少ない気がする。

#### (C 委員)

今の意見と同じです。

宇土市は、平成 30 年度に 4 万 1 千人の人口を目指すと掲げているが、基本構想案で検討されている位置番号 A 及び B に新庁舎を建設した場合、その目標が達成できるのか。

今後、宇土市は、国道 3 号、県道 14 号付近が発展していくように思う。そのような事を考えると、基本構想案で検討されている候補地以外でも考えるべきではと思う。

今から人口を増やすということは、政策人口を増やすという考え方になる。そのためには位置番号 A 及び B 以外にも検討する必要があると思う。

確かに現在は、位置番号 D 付近の排水問題もあるが、将来的に考えると必ず解決する問題だと思う。

庁舎の位置を決定する上で、候補地を排水などの問題で除外するのではなく、宇土市の 50 年後を考え、選択肢の幅を広げて考えた方が良いと思う。

#### (A 委員)

将来的な市の方向性をどう定めるかを考えたとき、色んな考え方があると思います。現在、日本には大きく 2 つの考え方があると思います。

地域に根ざし、その地域の可能性を伸ばすような考え方。一方、これまでの高度経済

成長期のように新しく街を作って人口を増やしていく考え方があると思います。

昨今の日本の状況をみると、余程の事をしない限り全国的にも地域でも人口は増えていかない。その辺を考えると、成熟社会を目指していくというのが最も現実的なまちづくりの方法だと思います。

その時に何が成熟なのかが問題となります。

高度経済成長時には、若い人の人口がどんどん増えていきました。その中では、皆が新しい物、新しい事となっていきましたが、これからの時代は中高年層含め、皆が幸せになれるような社会をつくる事を目指していくことが大事だと思います。

もう一つの視点は、自然環境は確実に悪化していくだろうということです。

これは、50年先、100年先にかけても、局地的な大雨が降るなど災害が予想されるだろうと思います。その災害の中でも、一番現実的に考える必要があるのが、水害に対する考えだと思います。一旦局地的な大雨が降ると、機械で水をあげることはできるが、全て吸い上げるということは無理があると思います。

位置番号 A 及び B だけでなく、他の場所も視野に入れてというのはその通りだが、前にあげた視点で考えると、基本構想案の中であげられた候補地の中では、位置番号 A 及び B が一番適正な建設場所だと思います。

#### (F 委員)

位置番号 A 及び B が、経済的にも一番良いと思う。ただ、それより大事なことは、他の委員の意見にもありましたが、本町通りなど現在の中心市街地をどうしていくのかだ。

逆に言えば、中心市街地の空洞化をしないためにも、再度現庁舎付近を拠点として、宇土の中心市街地を再度奮い立たせる。そのように、再出発をするという意味でも位置番号 A 及び B での建設が適当だと思う。

市庁舎が国道 3 号、県道 14 号付近に建設されて、今後本当に人口が増えるのか。

将来的に日本の人口も減ってくる中で、宇土の中心市街地を守るという視点も必要だと思う。

#### (A 委員)

街を復興するにあたっては、お金を使って施設を造るということよりも、江戸時代やそれより以前から受け継がれている、その地域にしかない何かと関連させながらまちづくりを行う方が、50年先を見たとき一つの方向性が見えてくると思います。

#### (D 委員)

中心市街地の商店街について、今考えなければいけないことは、10年後の後継者の問題だと思う。

将来的に、後継者不足により、商店街の店が数軒～数十軒しか存在しないようなことになってしまう可能性もある。

また、商店街に位置しているが、お店ではなく、一般家屋が建設されているということが何件か起きている状況だ。

宇土市の都市計画区域の中で近隣商業地域の部分は、現在は住宅街と言っても過言ではないと感じている。今後、既存商店の後継者問題を考えると、同様のことが現在の商店街で広く起こってしまう可能性がある。

商店街を活性化する上で、まずはそれを食い止めなければいけないと思っている。しかし、現在の住み慣れたところから、どこか他の場所に移って商店街を造っていこうという気持ちなど、今の商店街の地主さんたちにはないのではと思う。

現在の商店街は駐車場も少ないが、そのような中でも元気に経営されている店舗もある。ただ、今後の後継者不足による商店街の衰退は否めないと思う。

そのような状況下で、新しく造られる商業施設などの多くは、国道3号、県道14号付近に出店してきている。

勿論、先程意見が出たように、現在の庁舎付近の位置で、宇土のシンボリックな新庁舎を建設するというのも良いとは思っている。しかし、検討委員会も設置され、そのような議論ができるなら、例えば今出てこなかった宇土小学校付近など、他の候補地も検討すべきではないか。

位置番号A及びB以外は、土地の買収費用が必要なことから、基本構想案で示されているC及びD以外にも検討する余地はあると思う。

位置番号A及びBに反対というわけではない。ただ、もっと視野を広げて検討するのが、この検討委員会の役割であると思う。

#### (C委員)

他の候補地としてあげれば、例えば宇土シティが入っている土地だ。宇土シティ付近は、土地も広くあり、もし新しい駅をと考えた場合、そのようなスペースも十分にある。新庁舎の候補地として良いのではと思う。他にも、候補地として、宇土市の歴史を感じられるように城山に近い場所なども良いと思う。

市庁舎とは、市民の象徴でないといけないと思う。

その視点で考えると、やはり現在の場所付近では、現状維持のような感じがする。位置番号A及びBの案が、お金もかからないし、一番良いとは思っているが、検討する幅は広げた方が良いと思う。

ここにスペースがあるからという訳ではなく、庁舎建設とは50年に一回の事なので自分の家を建てるつもりで慎重に考えないといけない。

(A 委員)

他に意見はありませんでしょうか。

では、委員会の意見としては、もう少し範囲を広げて考えるということによろしいでしょうか。

#### ④新庁舎の建設スケジュールについて

(D 委員)

今のスケジュール案を聞いて、率直な意見として時期が悪いと思う。2020年に東京オリンピックが予定されており、建設資材の値段は相当上がっている。また、建設作業を行う人員も足りていない。このスケジュールで進むと、建設設計金額が一番高くなると予想される時期に決定してしまうことになる。

そうでなくても、財政的に庁舎建設予算が足りないという状況下の中で、全体的にスケジュールは少し後ろ倒しで考えた方が良くと思う。

(事務局)

確かに建設資材が高騰しています。現在庁舎を建設されている自治体においては、資材高騰により建設予算の見直しを行っている自治体もあります。

しかし、第1回目委員会時に、現庁舎の課題でも説明しましたとおり、現庁舎において震度6強の地震が発生した場合、庁舎が崩壊する可能性があるということ。それを考えると、早急にでも対応する必要があるということで現在のスケジュールを示させていただきました。

(A 委員)

一点意見しますと、建築の方の立場で考えると、これだけの規模の建築物となると、基本設計及び実施設計を1年間で行うということは、少し期間が窮屈のような気がします。

それでは委員の皆様、スケジュールについての委員会の意見としては少し後ろ倒して考えるということによろしいでしょうか。